



### 芭蕉翁生誕 380 年記念事業 俳句が似合う 芸能人コンテスト

皆さんは、「俳句が似合う芸能人は？」と聞かれたら、誰を思い浮かべますか。芭蕉翁生誕 380 年記念事業実行委員会では、芭蕉さんの理念や俳句の魅力を広め、芭蕉さんのふるさと伊賀市を全国に発信するため、「俳句が似合う芸能人コンテスト」を開催します。

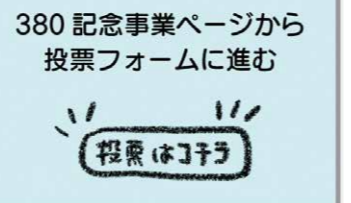
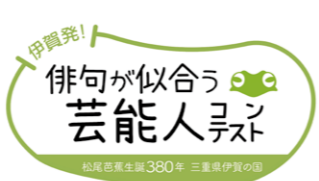
今は俳句ブームと言われ、テレビでも俳句を題材にした人気番組が放映されています。そうした番組の出演者はもちろん、「俳句を詠む姿が絵になると思う」「普段は体育会系なのでそのギャップが良い」など、あなたの感性で「俳句が似合う芸能人」を選んでください。「芸能人」には、俳優・芸人・歌手・ダンサー・モデルなどのほか、スポーツ選手や文化人も含まれます。

**【投票方法】** ウェブフォーム（下記の二次元コードからアクセス）に芸能人の名前と選んだ理由を入力

**【投票期限】** 4月30日(火) ※投票回数に制限はありません。

皆さんの投票によるランキングはホームページなどで公表し、みごと各カテゴリー1位に輝いた芸能人は実行委員会で表彰を行います。投票理由に熱い思いを書いていただくことで、その芸能人が伊賀市に来るきっかけになるかもしれません。多くの投票をお待ちしています。

**【問い合わせ】** 芭蕉翁生誕 380 年記念事業実行委員会事務局  
文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619 ✉ bunka@city.iga.lg.jp



伊賀市の文化財 151  
県指定有形文化財（彫刻）  
寺田の石造地藏菩薩坐像群  
寺田の石造地藏菩薩坐像群は、寺田地区の3カ所に点在する石仏です。石仏とは石材に彫刻を施した仏像で、自然の岩肌を活かし、直接彫り込んだ磨崖仏などがあります。寺の境内や墓地の入口、山の岩肌や道端などで目にする事ができる身近な仏像です。



大光寺参道の中腹に所在する1基の石仏」とも呼ばれており、高さ145cm、幅340cm、奥行き約280cmの花崗岩の自然石に、ほぼ同形の3軀の地藏菩薩坐像が刻まれています。こちらも同じ形態で制作されていますが、非常に立体的で彫りが深く、丁寧に作られた仏像であり、伊賀では最高の出来とされます。これら3基の石造地藏菩薩坐像は、いずれも立体的かつ丁寧な表現が見られ、14世紀代の特徴をよく表した優品であり、これらが寺田地区に集中していることは、石工が地域に定着し、石仏の制作技術や形態が世代を超えて継承されていたことを示しています。

文化財課  
☎ 22・9678 FAX 22・9667

### 明日に向かって ～差別をなくしていくために～

#### ちょっとしたゆずりあいの心 -住民課-

人権について考えるコラムです。

長野県へ旅行に行ったとき、驚いたことがありました。買い物をした店の駐車場から出ようと長い車列の切れ目を待っていたときです。車が多いので、当分は出られないと諦めていたのですが、道を譲ってくれた人がいたのでそれほど待つことなく出ることができました。親切な人がいるものだなあと感謝しながら次の店に行きましたが、そこから出るときも同様に道を譲ってもらえたのです。

様に取り組んでいます。その結果、2019年の調査で一時停止率 3.4%から今年は 51.3%にまで伸び、運転手の意識がずいぶん改善されたようです。

後に知りましたが、ある調査によると長野県は「信号機のない横断歩道における車の一時停止率」で断トツの全国1位らしく、譲り合いの運転が根付いているのだと感心しました。

本来、道路交通法では、横断歩道に歩行者がいる場合には、車両は一時停止しなければなりません。このことを人権問題の視点から考えてみると、歩行者から車両運転手に「おもいやり」を求めなければ、交通安全が保障されないというのは、人権が尊重されている社会と言えるでしょうか。

三重県ではこの一時停止率が低いことから、小学校を中心に児童が横断する際に停止してくれた運転手に「ありがとう」とあいさつする「まもってくれてありがとう運動」を推進しており、伊賀市でも同

先日も出勤途中、登校中の小学生に道を譲ると、振り返ってお辞儀をしてくれました。とてもさわやかで気持ち良い朝でした。しかし、「まもってくれてありがとう運動」という運動がなくても歩行者の安全が守られる、そんな当たり前の社会を築いていく一員でありたいと思いました。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

### IGAMONO セレクション No.47

#### アスパラガス

伊賀のアスパラガスはウエルカムという品種を使用しています。頭部のしまり・揃いが良く、太莖で緑色が濃いのが特徴で、甘味・旨味がありジューシーで、柔らかさの中に歯ごたえもあり非常に美味しいアスパラガスです。三重県内でも唯一の産地として県内量販店を含め地元量販店からも非常に人気があります。現在ではハウス栽培が主流となり長期間安定的に収穫でき、3月下旬～10月上旬頃まで販売しています。



伊賀ふるさと農業協同組合 営農部農産販売課長 中川 真一さん

JA いがふるさとアスパラガス生産部会を中心に栽培を行っています。

伊賀地域のアスパラガス栽培は、昭和57年に国営青蓮寺開畑地域の基幹品目として導入されたことに始まり、JAの共同育苗・基本的な栽培技術の検討・土づくりの奨励などによって作付の推進が行われました。昭和58年に

ハウス半促成栽培が試作され、一部の生産者で導入されましたが、露地栽培中心の産地でスタートしました。現在は、ハウス栽培が主流になり、選果はCCDカメラとコンピューターによる自動選果機を導入し、品質を揃えた出荷により市場からも高い評価を得ています。

【問い合わせ】 伊賀ふるさと農業協同組合 ☎ 24-5111

■伊賀ブランド推進協議会事務局（商工労働課） ☎ 22-9669 FAX 22-9695